

舟岡山城



<http://digitalarchiveproject.jp/information/舟岡山城>



舟岡山城跡は、手取川右岸の独立丘陵で、標高は一番高いところで海拔 181mを測る。手取川扇状地と白山麓の谷合集落を結ぶ中間に位置し、周囲にはささぎるものはないことから、独立要塞として山城として利用されてきた。白山市鶴来地区の八幡町に位置し、面積は約 120,000 m²で、山城の全域が舟岡山城跡として、白山市指定史跡となっている。山の南尾根には、石垣で囲われた曲輪(くるわ)遺構が残されている。歴史上では、天正 8 年(1580)に若林長門守を名乗る石山本願寺と加賀一向一揆勢が織田信長の軍勢が対峙し、石山本願寺側が破れ、その後、前田利家が金沢城に入城後、家臣である高島定吉が石川郡他を扶持され入場したとされる。高島定吉は、利家と血縁関係がある重臣であったが、慶応6年(1604)年に関ヶ原の合戦処理後、隠居しその後他の家臣が入らなかったことから廃城となる。現在の城の縄張りも、天正8年から10年にかけて反乱があった鳥越城を意識して形成されている。北側には、自然地形を活用した惣構え堀と犬走りがある。

■特色

織豊期とよばれる頃に、貴重な石垣遺構が残存し、貴重な歴史遺産として評価されている。



001_H251114舟岡山城跡000



002_H251114舟岡山城跡001



003_H251114舟岡山城跡002



004_H251114舟岡山城跡003



005_H251114舟岡山城跡004



006_H251114舟岡山城跡005



007_H251114舟岡山城跡006



008_H251114舟岡山城跡007



009_H251114舟岡山城跡008



010_H251114舟岡山城跡009



011_H251114舟岡山城跡010



012_H251114舟岡山城跡011



013_H251114舟岡山城跡012



014_H251114舟岡山城跡013



015_H251114舟岡山城跡014



016_H251114舟岡山城跡015



017_H251114舟岡山城跡016



018_H251114舟岡山城跡017



019_H251114舟岡山城跡018



020_H251114舟岡山城跡019



021_H251114舟岡山城跡020



022_H251114舟岡山城跡021



023_H251114舟岡山城跡022



024_H251114舟岡山城跡023



025_H251114舟岡山城跡024



026_H251114舟岡山城跡025



027_H251114舟岡山城跡026



028_H251114舟岡山城跡027



029_H251114舟岡山城跡028



030_H251114舟岡山城跡029



031_H251114舟岡山城跡030



032_H251114舟岡山城跡031



033_H251114舟岡山城跡032



034_H251114舟岡山城跡033



035_H251114舟岡山城跡034



036_H251114舟岡山城跡035



037_H251114舟岡山城跡036



038_H251114舟岡山城跡037



039_H251114舟岡山城跡038



040_H251114舟岡山城跡039



041_H251114舟岡山城跡040



042_H251114舟岡山城跡041



043_H251114舟岡山城跡042



044_H251114舟岡山城跡043



045_H251114舟岡山城跡044



046_H251114舟岡山城跡045



047_H251114舟岡山城跡046



048_H251114舟岡山城跡047



049_H251114舟岡山城跡048



050_H251114舟岡山城跡049



051_H2511114舟岡山城跡050



052_H2511114舟岡山城跡051



053_H2511114舟岡山城跡052



054_H2511114舟岡山城跡053



055_H2511114舟岡山城跡054



056_H2511114舟岡山城跡055



057_H2511114舟岡山城跡056



058_手取川から000



059_手取川から001



060_手取川から002



061_手取川から003



062_手取川から004



063_手取川から005



064_手取川から006



065_手取川から007